

【1 分解説】ライフデザイン経営とは？

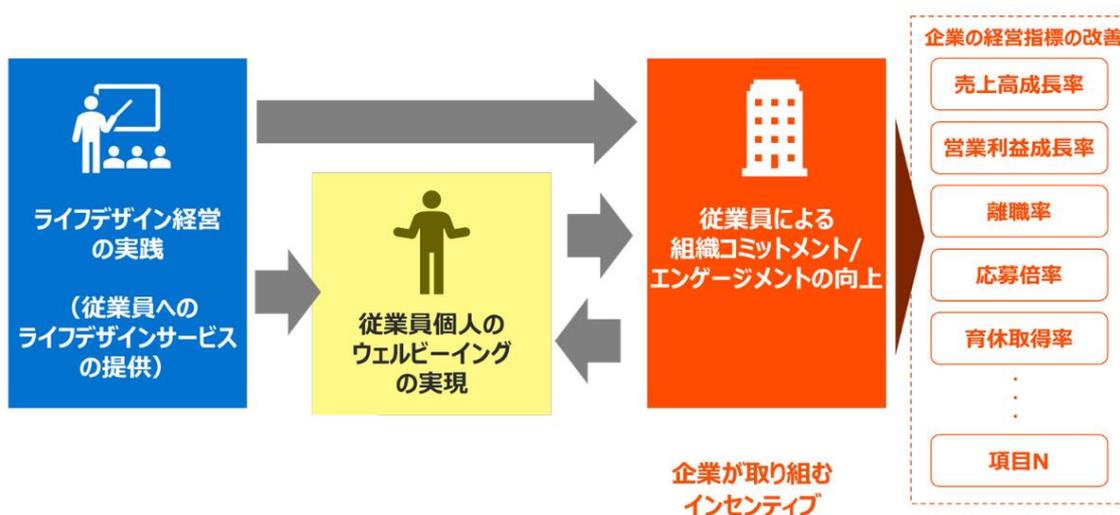
ライフデザイン研究部 主任研究員 鄭 美沙

ライフデザイン経営とは、社員がキャリアとライフを両立し、充実したライフデザインを実現できる環境を提供することで、人材の能力を最大限引き出し、企業価値向上につなげる経営のあり方です。2025年8月、経済産業省がこの定義を掲げ、ライフデザイン経営の企業への普及浸透を図っています（資料）。

ライフには、働き方や家庭だけでなく、住居や日常生活、資産形成など幅広い領域が含まれます。それらの多様な課題に対応する手段の一つが「ライフデザインサービス」の導入です。サービスの例は、ライフイベントを想定したファイナンスに関する情報提供やライフデザインの機会の提供などが挙げられ、企業にはこうしたサービスを創出・振興する役割もあります。

当研究所が2023年に行った調査では、ライフデザインを設計している人ほど生活満足度が高いという結果が得られました。一方で、設計している人自体は約4人に1人と多くなく、ライフデザイン経営によってその設計・実現が進むことが望まれます。ただし、近年企業が担うべき役割は、人的資本経営や健康経営、ウェルビーイングやサステナビリティの実現など拡大し続けています。取組みが乱立することによる現場の疲弊や、支援の形骸化も危惧されるため、ライフデザイン経営がそれらを包括的に推進する基盤になることが期待されます。

資料 ライフデザイン経営



(出所) 経済産業省「ライフデザイン経営とライフデザインサービスの活用・普及への期待～ライフ・キャリアの充実をサービスで後押し～」(2025年8月)より抜粋

関連レポート

- ・「ライフデザイン 30 年史(1)ライフデザインの設計状況～緩やかな景気回復と老後への不安を背景とした設計率の上昇～」(2025 年 8 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/495468.html>